

事務事業評価表

○基礎情報

課名		文化生涯学習課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			総従事者	時間外勤務時間	
施策目標	13	まなびを通して、自らが住むまちについて知り、 愛着を持ち、未来を創造する力をはぐくむ	石井 亨	管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
				1 人	12 人	1 人	3 人	26 人	28.36 人	3,003 時間	20.9 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の現状値	目標値(R2年度)	実績値		
			H29年度	H30年度	R元年度
市民講師登録数	64人	70人	84人	102人	101人
文化芸術事業参加者数	425,489人	550,000人	39,536人	310,551人	368,345人
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	市民の自主的な文化生涯学習活動の促進
2	生涯学習を担う人材の活用
3	生涯学習拠点の整備とネットワークの構築
4	芸術・文化に触れ合う機会の増加
5	身近なところで触れる芸術活動の展開
6	市史の編さん、情報発信

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める  
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない  
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和元年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)											Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H30予算(円) H30決算(円)	R元予算(円) R元決算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生まれ (対象) (手段・方法) れた成果・効果)	事務事業の指標	R元目標値	R元実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	市民大楽まなび一な運営事業	1	0.42	一般	0 0	0 0	あらゆる世代に向けた講座を開設し、学習機会の提供及び生涯学習支援者の育成を図り、まなびの市民講師の増加に繋がった。	まなびの市民講師の登録者数	70人	101人	S	変動なし		
2	茅ヶ崎ゆかりの人物館運営事業	4	2.22	一般	7,018,000 6,565,807	6,630,000 6,499,319	前期は登山家・榎有恒をテーマにした企画展を市民向けに開催。資料はすべて市内から収集し、これまで取り上げてきた人物に比べ、知名度が低い茅ヶ崎ゆかりの人物の掘り起こしに成功した。また、学校教育で役立つ地域教育に貢献すべく、館をハブとして、市内の文化施設を活用した授業協力を行った。	来館者数	3,940人	2,171人	A	変動なし		
3	市民文化会館の指定管理に関する事業	4	0.31	一般	172,740,000 172,710,000	211,837,000 211,836,450	改修工事中から展開し始めたアウトリーチ事業「おでかけ公演」を継続実施し、様々な事情で来館が困難な方への芸術・文化に触れる機会の提供にも努めた。	市民文化会館における来館者数	510,000人	340,504人	C	変動なし		
4	茅ヶ崎市民文化会館再整備事業	4	0.00	一般繰越	4,064,897,000 4,047,041,471	0 0	-	耐震補強及び改修工事の進捗	-	-	実績なし			

5	茶室・書院管理運営事業	4	0.62	一般	5,596,000	5,716,000	はじめての来館を促すため、桜花茶会や七夕茶会、秋の野点などの季節を感じる事業を実施した。また、初の美術館との連携事業へ挑戦し、能楽体験を実施。伝統芸能事業へのニーズがあることがわかり、今後の事業展開の足掛かりとなった。	茶室・書院利用者数	4,800人	3,622人	A	変動なし		
					5,596,000	5,712,000								
6	茅ヶ崎市美術館指定管理に関する事業	4	0.45	一般	73,693,000	99,330,000	8つの展覧会とそれに伴う22の関連催事を実施した。夏の企画展「美術館まで(から)つづく道」では、展覧会を構成する段階から障害者や子どもとアーティストが参加し、一緒に展示を作り上げる試みが評価され、「第12回神奈川県バリアフリー街づくり賞」を受賞した。	茅ヶ崎市美術館における来館者数	41,500人	26,743人	A	変動なし		
					67,240,387	96,954,663								
7	旧南湖院第一病舎の活用に関する事業	4	0.59	一般	1,482,000	3,453,000	関係者協力のもと、登録有形文化財登録の基準となった外観を復原した。また、基準となった平成14年の改修工事の資料調査や、建物外観の劣化状況調査をし、記録した。その他、将来の大規模改修の時までその歴史的価値を失うことなく維持できるよう、修繕等、都度の個別対応に努めた。	事業の進捗状況	資料・周辺環境等の調査	資料・建物等の調査及び記録	S	変動なし		
					1,171,603	3,428,643								
8	レインボーフェスティバル事業	1	0.94	一般	1,759,000	1,792,000	茅ヶ崎里山公園が広く市民に愛され、親しまれるよう、また、地域の交流と活性化を促進し、もって地域の発展に寄与することを目的として開催した結果、約45,000人の市民が集い、秋の祭りを通じて交流を深めた。	・ステージ出演者数及び多目的広場では模擬店の出展数	ステージ27件 店舗47軒 プリマ55件	ステージ23件 店舗52軒 プリマ55団体	S	変動なし		
					1,759,000	1,791,574								
9	生涯学習機会の提供	2	0.80	一般	7,477,000	7,258,000	地域に根ざした学習活動の促進のため、市民主導で事業を展開し、庁内外との連携により市民の多様な学習ニーズに応えている。目標の80%を超える講座の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、講座を9回中止した。	まなびの市民講師による自主企画講座の開催数	85	65	B	変動なし		
					7,308,016	7,220,580								
10	市民文化祭事業	4	0.44	一般	5,316,000	5,225,000	市民の文化活動の成果発表の場の提供及び文化芸術に触れる機会の提供のため、文化祭を35日間24行事開催し、6670人の来場者があった。また、工芸造形展、秋のコンサートでは茅ヶ崎市がホストタウンとして登録された北マケドニア共和国との交流事業を実施した。	開催日数及び行事数	20日間 27行事	35日間 24行事	B	変動なし		
					4,931,248	4,538,396								
11	次世代を対象としたアウトリーチ事業等	4	0.31	一般	300,000	279,000	次世代を担う子どもたちの豊かな創造性、感受性を育むことを目的として、市内保育園・幼稚園の5歳児クラスを対象に美術鑑賞の出張講座を11園11クラスで実施し、園児209人が参加した。実施後のアンケートでは参加した園のすべてが「参加して良かった」と回答するなど、高い評価を受けた。	鑑賞出張講座の実施クラス数	20クラス	11クラス	A	変動なし		
					300,000	279,000								
12	美術品収集事業	4	0.23	一般	337,000	43,000	美術館の独自性を発揮するため、茅ヶ崎市にゆかりの深い美術家の作品を収集する。元年度は5点の寄贈、1点の購入を決定し、美術館の収蔵作品のさらなる充実を図った。	美術品審査委員会の開催回数	2回	2回	S	変動なし		
					93,556	42,460								
13	文化活動推進及び支援事業	1	0.33	一般	1,186,000	704,000	文化を核として本市のまちづくりを総合的に推進するとともに、各種団体等を支援する。こころの劇場は小学5年生を対象に1回実施し、市民ふれあいプラザで開催しているふれあいプラザコンサートは、2回実施した。	文化活動支援事業の開催回数	4回	3回	C	変動なし		
					1,063,124	693,900								
14	市史編さん事業	6	1.43	一般	7,827,000	7,128,000	刊行物に関連した講座を、幅広い年齢層の方を対象に開催した。講座の開催回数は目標には達しなかったが、短時間で複数回の講座を開催する工夫をした結果、毎回ほぼ満員で盛況であった。	市史講座の開催	25回	6回	A	変動なし		
					7,083,144	5,928,998								

15	子育て世代のための生涯学習交流サロン運営事業	2	0.06	一般	600,000	534,000	子育て世代に対し、学びの場や仲間作りの場を提供し、育児における孤立状況の改善を図るとともに、地域や社会との交流、自らが地域等の担い手となる意識の醸成を図るため、年11回のサロンを開催した。全体で125組の参加があり、参加者が講座の講師や地域活動へ参画するきっかけの場ともなった。	サロン実施回数	年12回	年11回	B	変動なし		
					599,999	533,520								
16	ハマミーナ総合案内管理運営業務	3	0.34	一般	65,584,000 ----- 60,763,094	64,326,000 ----- 63,782,075	ハマミーナまなびプラザの体育室の利用率は前年より増加したが、新型コロナウイルスの影響もあり、使用料は目標値を下回った。	ハマミーナまなびプラザ使用料	4,200千円	4,040千円	B	変動なし		
17	市制70周年茅ヶ崎市民文化会館改修工事期間を活用したメモリアル事業	4	0.00	一般	226,000	0	-	アーティスト参加者数	-	-	実績なし			
					226,000	0								
合計				R元予算(円)		414,255,000								
				R元決算(円)		409,241,578								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課かいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

文化生涯学習課の第4次実施計画における政策的事業の数は17事業であり、これらの事業のうち、「実績なし」の2事業を除いた評価結果は、「S」評価が4事業、「A」評価が5事業、「B」評価が4事業、「C」評価が2事業となった。

施策目標の達成状況については、「市民講師登録数」は、目標値70人に対し実績101人となり目標値を上回っている。これは平成31年2月に「まなびの市民講師WEEK」を実施し、ふれあいプラザにてまなびの市民講師の発表や活動を紹介する場を設けるなど、事業周知の強化を図ったことにより成果が上がったものと認識している。

「文化芸術事業参加者数」については、30年度は上回ったものの、目標には遠い実績値となった。これは文化会館において、30年度のリニューアルに伴う休館により、それまで文化会館を利用していた方々がリニュアルオープン後、文化会館にご来館いただけていない状況があったことが要因の一つとして挙げられる。しかしながら、リニュアルオープン後も市内各所に出かけて公演を行うアウトリーチ事業を実施しているほか、多くの来場者が見込める事業を企画しており、引き続き、目標達成に向け参加者を増やす努力をしていく。

「旧南湖院第一病舎の活用に関する事業」では、躯体の腐朽の進行を防ぐための外観復原等業務を行い、劣化状態を調査・記録し現状を把握することができたが、保存活用のためには数年以内での大規模改修は必須であり、根本的な課題として残っている。

職員の時間外勤務は、30年度と比較して総時間数で1,037時間、一人当たり月平均で7.2時間減少した。その主な要因としては、30年度は文化会館のリニュアルオープンに向けた業務をはじめ、全体的に業務量が増加傾向であったことに比べると元年度は業務が平準化されていたこと、また、課員全体の会議や担当ミーティングを密に行うことで、職員の意識の共有や業務の効率化を図ることができたことが挙げられる。今後も引き続き、ワークライフバランスの促進を図るとともに、事業を円滑に遂行するため関係機関との連携・協力を進めていく。

令和2年度は、次期文化生涯学習プランの策定を進める予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い次期茅ヶ崎市総合計画実施計画の改定を2年間延期する状況を踏まえ、当面の間先送りすることとした。しかしながら、今後の事業展開にあたっては現プランのコンセプトを継承するため、令和2年度中に現プランの最終評価について文化生涯学習プラン推進委員会から答申をいただき、令和3年度以降の事業については答申を基に推進していく。

4 ActionIにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は-)	事務改善の内容
-	-	-

5 ActionIにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は-)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
-	-	いずれも事業も施策目標達成に向け必要であるため、休・廃止は困難である。